

第 82 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 2 月 27 日(土) 14：30～15：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

- ◇ 「緊急事態宣言について」、及び「緊急事態宣言から再発警戒段階への移行について」、その内容を協議した。
- ◇ 緊急事態宣言については、2月28日をもって終了し、これに伴い、営業時間短縮要請も同日をもって終了することを決定した。
- ◇ また、警戒レベルは第3段階の感染流行期にあり、引き続き警戒が必要であることから、会食による感染拡大の注意事項、職場での対策、各店舗や施設等における対策、県境をまたぐ往来、季節的なイベント等に関すること等を決定した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、新木 県警警備二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、長嶺 農林水産部長、上原 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、新規陽性者及び療養者の状況について報告。【資料 1】
 - ✓ 昨日、23 人の新規感染者が確認され、その内、11 名は那覇市内の医療機関のクラスターとなっている。本日の暫定値は 19 名となっており、20 名前後が続いている。
- 病院事業局から、県立病院に入院している患者の状況等について報告。
 - ✓ 中部病院では、入院患者が 10 人を下回るようになってきた。疑い例は絶えず救急や外来を受診しており、院内に入り込まない方策をとっている。
 - ✓ 南部医療センターは、休床していた外科病棟も一部再開予定で、ひっ迫してい

た状態から抜け出せているが、常に緊張した気持ちを持ち続けるようにしている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告。【資料 2】
 - ✓ 配付資料のとおりであり、説明を省略した。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 7つの指標全てが第3段階以下に入って10日経っている状況となっている。
 - ✓ 非コロナ病床の状況は、あまり変化がなく、一般病床の利用率は93.7%と高い水準で推移している。
 - ✓ 非コロナ病床がひっ迫しているが、コロナ病床は落ち着いた状況にあり、非コロナ病床へ充てるということも含めて、本日、沖縄本島の医療フェーズを4、宮古・八重山地域を3日に引き下げる通知を行ったところである。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は6.31人で、全国で7番目であり、全国平均よりも高い状況となっている。
 - ✓ 病床占有率、療養者数、新規感染者数について、ピークは1/23-1/29の週で、緊急事態宣言が出て数日後がピークで、その後は減少に転じている。
 - ✓ 60歳以上の占める割合は、一時は40%台となっていたが、23.7%と減少傾向にある。逆に若い人の感染が増えており、行動が活発なだけに感染源とならないか懸念している。
 - ✓ 酸素投与が必要な中等症以上の感染の推移は、緊急事態宣言直後がピークで、順調に下がってきており、65人となっている。ただ、死亡退院が重症者のピークから少し遅れて出ている。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 那覇の東横イン1カ所で56名が療養しており、他はゼロという状況である。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 配付資料のとおりであり、説明を省略した。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
 - ✓ 社会福祉施設、医療機関に併せてガールズバーやキャバクラ、あるいは友人同士が混在しており、2月に入ってから飲み会のクラスターが増えている印象を持っている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 総括情報部から、宮古・八重山地域の状況について報告。
 - ✓ 宮古地域は療養者数が2名で、新規感染者は2月10日以降、ゼロが続いていたが、本日1名、県外からの方の陽性の報告を受けている。
 - ✓ 八重山地域は1月29日以降、ずっとゼロが続いていたが、2月23日に1名確認されている。

(8) ワクチン対策チーム進捗状況報告【資料7】

- 総括情報部から、ワクチン対策チームの進捗状況について報告。
 - ✓ 医療従事者用のワクチンが3月1日の週、8日の週に7箱ずつ届くことになっており、連携する病院を決定している。
 - ✓ 救急救命士等の搬送業務に関わる方々も、このタイミングで接種できないか調整を行っている。

(9) PCR 検査強化事業(介護従事者対象)検査実施状況【資料8】

- 総括情報部から、介護従事者を対象とした定期PCR検査の実施状況について報告。
 - ✓ 2月22日～25日の間に8,049名が受検し、その内2名の陽性が見つかった。
 - ✓ 1名は過去に陽性になった履歴があり、その影響の可能性がある。

<その他報告事項>

- 文化観光スポーツ部から、NAPP、TACO の週間実績及び RICCA の登録状況報告
 - ✓ NAPP の 2 月 22 日～25 日の実績は、検査者 327 人で内訳は県民が 209 人、県民以外が 118 人となっており、1 日平均 80 人くらいとなっている。
 - ✓ TACO の週間実績は、サーモグラフィー通過者は 80,000 人余りで、先週より 16,000 人余り増えている。
 - ✓ RICCA の状況については、登録者数が 68,000 人余り、登録事業者数が 6,000 件余りに増加している。
 - ✓ NAPP については、これまで比較的順調に進んできたということで、拡充を図る。対象渡航者をこれまで緊急事態宣言の対象地域の渡航者に限っていたが、全ての地域からの渡航者及び那覇空港から県内離島に出発する渡航者でやむを得ない事情により出発前の PCR 検査などにより陽性・陰性判定を受けていない者に拡充する。実施人数を概ね 100 名程度から 200 名を上限とし、3 月 1 日から拡充する。

(質疑応答)

- 資料 6 では八重山地域の療養者が 1 名となっているが、病院事業局からの報告では入院患者はゼロとなっているが、他の病院等で療養しているのか質問。
 - ✓ 資料 6 は昨日時点の数値であり、本日は退院している。

3 議題

(1) 緊急事態宣言について【資料 9】

- 総括情報部から、緊急事態宣言の終了について説明。
 - ✓ 資料 9-1～9-7 の資料を基に、各データの状況を説明。
 - ✓ 2 月 4 日に新規感染者数、療養者数、入院者数及び重症中等症数の推定を行ったが、4 つの指標の内、2 つ（新規感染者数、重症中等症数）が推定よりも速いペースで減少し、1 つが推定のペースを維持（入院者数）、1 つが推定より鈍化（療養者数）

している。

- ✓ 概ね、想定していたよりも速い速度で減少が進んできたが、ここ数日は、下がりきらない印象もあるが、一時期のピークからは脱してきていると言える。
- ✓ 飲食関連の市町村別の陽性者の数（資料 9-2）は、1/3-1/9 の 111 名から 88 名、89 名と飲食関連の陽性者が多発した時期がある。緊急事態宣言を発出し、時短要請を 20 時までに変更して以降、53 名、22 名、12 名と順調に下がってきたが、先週、先々週は飲食関連のクラスターが発生し、少し増えているのが気になっている状況である。
- ✓ 外出自粛要請の効果（資料 9-5）については、まず、繁華街エリアについて県内 10 カ所、基準日を 12 月第 1 週の金・土と設定し、22 時までの時短要請期間の人出と 20 時までの時短要請期間の人出を比較すると 38.6%減となっており、各地域をみても減少の割合が 2 倍程度となっている地域が多い。外出自粛の効果については、20 時までの時短要請の効果があったと考えている。商業エリアについても同様の結果であると考えている。
- ✓ 市町村の見回り活動の実績（資料 9-6）については、石垣市が実績なしなど、一部で徹底されていないが、市町村において見回りを行い、要請や確認を行っている状況である。
- ✓ 移入例の陽性者数の速報（資料 9-7）については、1 月 5 日の週にピークがあつて 64 名、58 名と推移したが、その後は減っている。ただし、2/16-2/22 の週にはまた 4 人となっており、学生が帰省で帰ってくる時期になっていることによるものと思われる。
- ✓ 資料 9 ①を基に県の判断指標の状況、各種関連する項目の状況を説明
- ✓ 判断指標及び目安の状況は、いずれも宣言発出時点の 1 月 19 日より改善している。
- ✓ 重症・中等症数は 1 月 27 日の 208 名から 56 名に減少し、入院患者数及び新規感染者数も大幅に減少している。

- ✓ 病床占有率は、コロナが 54.0%、非コロナが 93.7%の状況である。
- ✓ 60 歳以上の新規感染者の状況は、減少傾向にある。
- ✓ 医療機関及び福祉施設での感染防止状況は、一旦減少したものの、感染が確認された地域が先週から増えてきており、注視が必要である。
- ✓ クラスターの発生状況については、2 月に入ってもキャバクラや飲食店等で 3 件、昨日、医療機関で 12 名となっており、引き続き警戒が必要である。
- ✓ 飲食関連の感染状況については、1 月に比べるとかなり減少にあるが、まだ、22 名、12 名、21 名と変動があり、引き続き警戒が必要である。
- ✓ 移入例についても、いったんは大幅に減ったが、4 名、1 名、4 名と増加の傾向があるかもしれないため、警戒が必要である。
- ✓ 国が緊急事態宣言を発令している 10 都府県のうち、6 府県を 2 月 28 日で前倒し解除する方針であるが、2 月 26 日付けで、基本的対処方針に基づく催物の開催制限等に係る留意事項を発出し、3 月以降の取扱を示している。歓送迎会や飲食につながる謝恩会等については自粛を働きかけるよう、全都道府県に対して求めており、沖縄県としてもこれを反映した形を考えている。
- ✓ 以上を踏まえた上で、資料 10 のとおり緊急事態宣言を終了することを議題としてお諮りしたいと考える。

(質疑応答)

- 新規感染が徐々に増えている中で、28 日で終了する理由について質問。
 - ✓ 県の警戒レベルが第 4 段階ということで 1 月 19 日に緊急事態宣言を発出したが、第 3 段階に下がる時点を目安にして解除することを事前に説明している。
- 全ての指標が第 3 段階以下になって 1 週間以上続いており、総括情報部としては第 3 段階に引き下げられる状態に来ていると考えている。ただし、今週初めの状況では、専門家会議でも警戒が必要との意見があり、当初予定の 28 日まではしっかりと抑え込む必要があると判断した。

- 新規感染者数が増えているのはクラスターの発生が要因であると思われるので、それはしっかりと抑え込む対策は取り、ただし、警戒が必要なので、県民・事業者に対してどのような対策が必要なのか説明することが大切であるとのコメントがあった。

(2) 緊急事態宣言から再発警戒段階への移行について【資料 10】

- 総括情報部から、新たな県の対処方針「緊急事態宣言から再発警戒段階への移行について」説明。
- 警戒レベルを第 2 段階まで引き下げること为目标に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」及び「沖縄県新型コロナウイルス感染症等対策に関する条例」に基づき、3 月 1 日以降の対処方針を次のとおりとする。
- 資料 10 を全文読み上げて説明。
- 商工労働部から、経済団体(観光関連を除く)の意見聴取状況を説明。
- 会食・会合における感染拡大注意喚起について、「会合については、マスクをした状態で行うのが一般的であり、4 人を超えて行わざるを得ない会合も多々あることから、会食と同様の制限は適当ではない。」との意見があったところ、資料 10 1 (1) から「会合」を外しており、意見を反映できている。
- 「飲食中はなるべく会話を避け、飲食時以外はマスクの着用」や「体調不良の際には会食・会合に参加しないこと」といった内容は、基本的に反映されている。
- 各店舗や施設等における対策について、「緊急事態宣言が解除された場合、飲食店等に時短要請等の協力を求めないこと」との意見が出ている。これは他府県で、解除後に段階的な時短要請があることを危惧した意見である。
- 県境をまたぐ往来についてや、離島への往来について、来県自粛を求める際の「不要不急」の文言追加など、観光関連の意見が出ている。
- その他の意見として、「RICCA だけでなく COCOA も併用すべき」、「離島空港における PCR 検査体制の整備」、「国の一時金の支給対象となっていない事業者への、支援金の支給」

「県の協力金の支給を急ぐなど現場への対応強化」といった意見が出ている。

- 文化観光スポーツ部から、観光関連団体の意見聴取状況を説明。
 - ✓ 会食・会合における感染拡大注意喚起及び各店舗や施設等における対策について、「RICCA 並びにシーサーステッカー掲示等の積極的な利用を推奨」、「石垣市発行の「あまびえーぐる」ステッカー、沖縄県発行の RICCA、シーサーステッカー掲示促進」との意見が出ている。当該意見を踏まえ、資料 10 の 1 (1) の項目で「シーサーステッカー」の記載箇所を「シーサーステッカー等」と追記することで反映させている。
 - ✓ 県境をまたぐ往来について、「政府及び県独自の緊急事態宣言が発令されている地域であっても「来県自粛」は求めるべきではない」との意見が出ている。
 - ✓ 離島への往来について、宮古島でも観光産業が悲惨な状況であり、今後予定されている沖縄彩発見は「県民の県内旅行需要喚起を図る」を目的とされていることから、離島間の移動の「最小限」は削除してほしいとの意見が出ている。当該意見を受けて資料 10 の 1 (6) については、「事前の十分な健康観察と感染防止対策の徹底をお願いします」という表現に変更している。

(質疑応答)

- 「再発警戒段階」という言葉の定義について質問。
 - ✓ 再発警戒段階とは、警戒レベルの第 4 段階から第 3 段階への動きがあり、これは「感染まん延期」から「感染流行期」との表現になるが、緊急事態宣言を解除して迎える第 3 段階ということで、感染が再燃しないよう再発を警戒する段階として名付けている。
- 「手指衛生」という新たな単語が出ているが、これまで使用してきた「手指消毒」との違いについての質問。
 - ✓ 手指衛生には、手指消毒を含めた一般的な衛生状態の改善のことで、比較的使われている言葉であるが、統一するようにする。

- 「会食」に関して、10月26日のコロナ警報の際には「深酒、はしご酒を控える」という表現があったが、今回も追加すべきではとの質問。
 - ✓ 「なるべく同居家族や親しい方など普段一緒にいる方で」という表現の方が厳しい内容になっているものと考えている。
- 資料10の1(9)③に関して、「国の基本的対処方針の留意事項の要請により」との表現が、一般的にわかりにくいのではないかととの質問。
- 資料10の1(9)③に関して、「自粛を求める」との表現は、2時間以内・4人以下と比較して厳しくなっているのではないかととの質問。
 - ✓ 国がコロナに関して対処方針を示しており、各県は同方針に基づき県対処方針を作成している。国対処方針の留意事項の中で「歓送迎会、新歓コンパ、謝恩会などは自粛を県として働きかける」との内容を表記したところである。
 - ✓ 2時間以内・4人以下を求める中で、ここだけを自粛というのはなかなか難しいところであるが、理屈を説明したところである。
 - 表現をよりわかりやすくするよう修正することとした。
- 資料10の1(1)から「会合」という表現がなくなっているが、経済団体の意見としては会議に関する要望のため、会議を追加することができるかととの質問。
 - ✓ 資料10の1(1)「※」のイベントの項目説明の中に「会議」を追加する。
- 最後に、緊急事態宣言の終了と、緊急事態宣言から再発警戒段階への移行について発表することを確認した。

＜議題のまとめ＞

- ☆「緊急事態宣言について」、2月28日をもって終了する。これに伴い、営業時間短縮要請も同日をもって終了する。
- ☆警戒レベルは第3段階の感染流行期にあり、引き続き警戒が必要であることから、3月1日以降の対処方針を決定した。
- ☆「緊急事態宣言から再発警戒段階への移行について」は、細部に修文の必要な箇所指摘があるため、総括情報部にて修正することを確認。

4 その他報告

特になし

5 閉 会